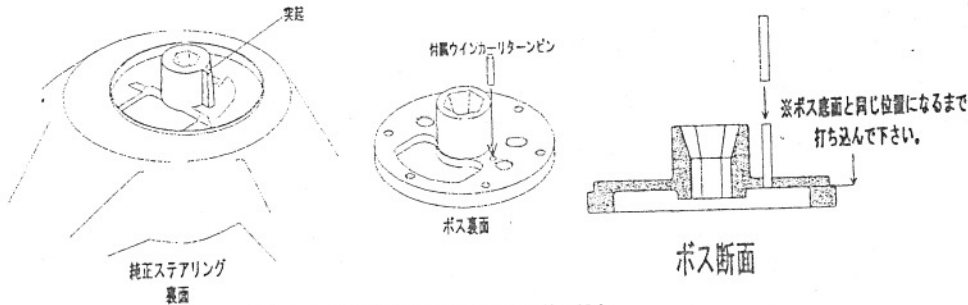


921 取り付け説明書

- SRS エアバッグを取り外し、下記作業を行えば警告灯を消灯させることが出来ます。但し、お車の電流特性により、正確に配線されていても警告灯が点灯・点滅（時間が経ってから含む）してしまう場合がございます。ディーラー等で診断器をかけると消灯出来る場合もあります。ご了承下さい。
注：SRS 警告灯の消灯を保障しているものではありません。消灯しない場合はメーターの電球を抜く等の対応をしてください。
- エアバッグを再搭載される場合は必ずディーラーで行ってください。
- 取り外し作業は手順を誤るとエアバッグが作動し大変危険です。専門店、又はディーラーにお任せ下さい。お客さまご自身による作業で事故が発生した場合、弊社では責任を負えません。ご了承下さい。

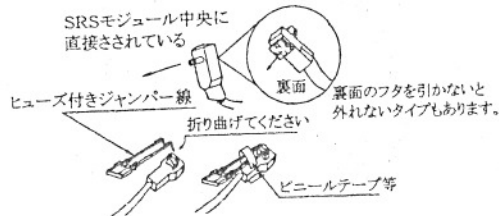
作業手順

- 前輪を直進状態にしてから、バッテリー端子を外して5分以上放置する。
- 純正ステアリングホイールの側面にあるネジを外す。
- エアバッグモジュール（本体）を取り除く。このとき接続されているコネクタを抜く。
- ステアリングに接続されている各コネクタを抜く。
- センターボルト（ナット）を緩めてステアリングを外す。
（ステアリング・プーラーを用いる事をお勧めします。）
スパイラスケールは純正ステアリングを外した状態から、作業終了まで絶対に回転させないで下さい。
- 純正ステアリング裏側に下図突起がある場合には付属のウィンカーリターンピンを打ち込む。
突起が無い車両は付属のピンを打ち込む必要はありません。



- ボスのトップマークを真上にしてステアリングシャフトに差し込む。
※トップマーク（穴）とペイントは5.の状態で合うほうを優先してください。
- SRS エアバッグに接続されていたコネクタに付属のヒューズ付ジャンパー線を差し込み、（極性無し）抜けないようにコードに沿わせてテープ等で固定する。
（注）二段式エアバッグの場合には2セットとも、これを行う。
- ホーン配線とエアバッグ配線は、ボスの内部で遊ばないようにテープ類で固定する。
- エアバッグ配線はボスの内部で遊ばないようにテープ類で固定する。
- ボスカバーをかぶせる。下部がスパイラルケーブル凸部に当たってしまう場合は、カバーを变形させるか、カッター等で干渉部分を切り取る。
- ステアリングホイールを取り付け、センターナットを締める。トルクは30N・m（3kgf・m）。
- ホーンの配線を接続してホーンボタンを装着する。

※ ヒューズ付ジャンパー線は、接触不良が無いように確実に固定してください。また、折り曲げは1回までにしてください。それ以上繰り返しますと、破断してしまいます。差し込んだ後は、ビニールテープ等を用いて接触不良等を防いでください。



※許可無く複製、転載を禁ず
090707